

## 「ナノ高度学際教育研究訓練プログラム」社会人教育プログラムの平成23年度第8期生修了認定証授与式、および平成24年度第9期生開講式、ならびに特別講義、交流会開催

ナノサイエンスデザイン教育研究センターは、標記の修了認定証授与式、開講式並びに特別講義を、108名（サテライト教室にて58名を含む）の受講生の出席のもと、3月30日（金）に本学中之島センターを主会場に、中継で大阪大学東京オフィス、四日市の遠隔教室において開催しました。

本プログラムは、平成21年度より授業料の有料化と大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアムの支援を得た新制度の下で実施中であり、実社会で活躍中の研究者・技術者を対象とした4コースからなる研究科横断型の高度社会人教育プログラム（1年間）です。また、サテライト教室は近畿、中部、関東圏10ヶ所に開設され、現在企業33社のご協力を得ています。

修了証書授与式（8期生73名中修了者70名）では、荒木勉副センター長（基礎工学研究科）および赤井久純センター長（理学研究科）より、科目等履修生高度プログラム修了認定証および大阪大学エクステンション修了証書が授与されました。引き続き、開講式（9期生74名）も兼ねて、赤井久純センター長、太和田善久コンソーシアム理事、四日市教室より齋藤彰一コンソーシアム理事の祝辞があり、その後荒木副センター長による新入生履修指導がありました。特別講義「ナノをマクロに繋げる結晶化技術で社会貢献 ～産学連携・異分野連携からベンチャー創出～」(森勇介工学研究科教授)では、ナノ理工学を駆使した多分野に跨がる無機、有機、バイオ材料の結晶化技術とそのベンチャー起業に関するホットで魅力的な話題が提供され、質問を交えて受講生が熱心に聞き入っていました。引き続きの受講生・教員間の交流会には、来賓10名、阪大教員16名を含めて126名（中之島センターでは69名）が参加し、受講生、大学関係者相互の交流を深める絶好の機会となりました。8期生までの総修了者数は576名を数え、四日市商工会議所が連携して開設している社会人教育遠隔教室の活動が日本商工会議所の平成23年度事業活動表彰を受けました。これを機会に産学連携相互人材育成の一層の発展が期待されます。

今年度の大学院生向けのプログラムもスタートし、「ナノテクキャリアアップ特論」の他大学への配信によるプログラムの共有、大学院・社会人両プログラムの相互乗り入れによる討論重視の土曜集中講義「ナノテクノロジー社会受容特論」、「ナノテクノロジーデザイン特論」の強化、博士前期課程におけるナノテク文理融合プログラムの新設などによって人材育成プログラムの一層の充実が図られています。

### 修了式・開講式・特別講義における風景



中之島センター



大阪大学東京オフィス



四日市商工会議所教室